

# B-Net 翔

発行/ 株式会社 日本環境ビルテック

東京都豊島区東池袋 3-20-3 東池袋 SS ビル 3F

TEL 03-5979-5545 代表

## 第 20 号

### ■目次

- ・ 新年のご挨拶
- ・ 社会貢献事業のご報告
- ・ 世界が狂い始めた！WHO の思惑とは？
- ・ 外国人技能実習生受け入れ報告

### ■新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

十干十二支（じっかんじゅうにし）でみますと 2024 年は甲辰（きのえたつ）の年となります。十二支の中で唯一、空想上の動物が当てられている「辰」です。東洋では辰＝龍は神の使いであり、世を統べる権力の象徴であり、昇り龍などに描かれるように、勢いよく活気あふれる年になると言われています。しかし、去年はロシアとウクライナの戦争は終結せず長期化をしており、イスラエルとパレスチナの新たな戦争が勃発するなどの争いが拡大し、ヨーロッパ各国やアメリカでは移民が押し寄せ国内が混乱しております。日本国内ではコロナウイルス感染者は後を絶たず、時期外れのインフルエンザが流行し、経済ではエネルギーの高騰により物価が上昇しているにも関わらず、現政権は増税路線で国民生活を脅かしています。本当に今年は、活気あふれる年になるのかと不安を抱かれる方々が多いかと思えます。また、日本では少子高齢化社会や 2021 年より増加する超過死亡者数累計 40 万人を突破するなど確実に日本の労働人口は減りつつあります。この現状を踏まえて労働集約産業である当社は、事務処理のクラウドシステム化やロボットを導入しての省力化を推進しております。また、昨年末にネパール国より外国人技能実習生を受け入れるなどして将来的に外国人を登用も視野に入れての行動を起こしております。

本年は、「質の向上」(Improving quality) を企業テーマとし、「企業の質」「社員の質」の向上を目指して①時代の変化に適應できる自己変革能力・行動力がある。②顧客に密着している。③人を活かす経営、自主性と起業家精神にあふれている。④長期ビジョンによる経営が行われている。⑤社会貢献が意識されている。の 5 つの課題を達成すべく努力していく所存であります。本年も宜しくお願い申し上げます。

令和 6 年 元旦

株式会社日本環境ビルテック

代表取締役社長 山田 稔

## ■社会貢献事業のご報告

当社の今期の社会貢献事業（CSR）の一環として、令和5年11月2日に埼玉県富士見市に500万円の寄付をさせて頂きました。贈呈式では、当社の山田社長より富士見市長星野光弘様に目録が贈呈されました。贈呈式後の雑談では、当社社長と星野市長は青年会議所時代からの知人であり、昔話に花を咲かせることが出来ました。市の為に有効に寄付金をお役立て下さい。



## ■世界が狂い始めた！WHOの思惑とは？

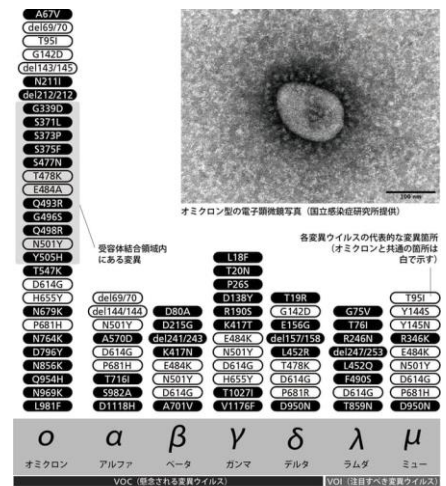
2019年に中国武漢より発生し、世界に感染拡大した新型コロナウイルス。未だにその感染は収束せず、日本においては過去例のない夏場にインフルエンザウイルスA型・B型が感染拡大した。メディアの一部では、専門家である京都大学宮沢孝幸准教授がオミクロン株を解析してオミクロン変異株の親となる株を探したところ実はオミクロン株が親であり、最初に感染拡大した武漢型コロナウイルスがオミクロン株の変異株であることを突き止めた。その武漢型コロナウイルスは、オミクロン株と比較すると31箇所の変異が確認され、その変異箇所が綺麗に配列されていた。

宮沢准教授は、コロナウイルスは人工的に作られたものであるとの見解を示し、注意喚起をした。また、宮沢准教授の懸念は2024年5月のWHO（世界保健機構）総会で予定されているWHO規約の変更によりWHOに

法的拘束力を持たせた上でパンデミック条約を新たに作ろうとしている事だと言う。このパンデミック条約が加盟国の2/3の賛成で承認されれば、WHOは再度ウイルスが感染拡大した時に「パンデミック宣言」することで、加盟各国はWHOの保健衛生対策に強制的に準じなくてはならなくなる。要は、各国の国家主権の一部をWHOに委譲することになるのである。これにより、ワクチンの強制接種・治療薬の強制的服用・ワクチンパスポート・強制ロックダウンがWHOの意のままに行われることになる。そうでなくても、世界的にmRNAコロナワクチンについては多くの副作用による死者や重篤な後遺症で苦しむ人々が続出しており、大きな問題となっているが日本だけが未だにmRNAワクチンの接種を推奨している。このパンデミックがプランデミック（計画されたパンデミックの造語）であり、宮沢准教授の言う人工的に作られたウイルスを故意に世界的にばら撒き感染拡大となるとビッグファーマー（大手製薬会社）のやりたい放題となる。日本では憲法に緊急事態条項がないため、現時点ではWHOのパンデミック条約に従って国家主権を委譲することは出来ないが、今後の岸田政権の憲法改正に対する取り組みには注視する必要があると考える。最近、明らかになった「パンデミック条約」の草案では、この条約が決議された場合に従えない国はWHOを脱退することになるが脱退については届け出を出してから3年後となり、その間はWHOに従わねばならないとなっている。裏を返せば、「パンデミック条約」成立後3年以内に再度世界的パンデミックが起こすと言う事ではないのか？この中国武漢から新型コロナウイルスが発生した時、

WHOは中国に付度し過ぎるとアメリカのトランプ大統領は2020年にWHOを脱退したが、バイデン大統領に変わった2021年にアメリカは再度WHOに加盟した経緯がある。WHOの資金提供者も一位がアメリカ・二位はビルゲイツ財団となっており、グローバリストが推進する「グレートリセット」「ニューワールドオーダー（新世界秩序）」の策略が見え隠れしていることから、次期のアメリカ大統領選挙は世界的に重要なターニングポイントとなるであろう。その他、世界的に進められている国民に対する「デジタルナンバー（日本では「マイナンバー）」、移民政策、CO2削減、デジタル通貨、LGBTなどは全て2015年に国連で全会一致により採択され、2030年をゴールに見据えたSDGsが出発点となっている。

このSDGsについては、全く国会で取り上げられずに進められた経緯があり、「WHO規約改定」や「パンデミック条



このSDGsについては、全く国会で取り上げられずに進められた経緯があり、「WHO規約改定」や「パンデミック条

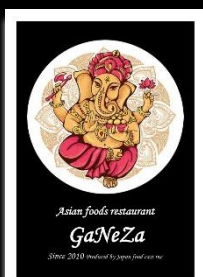
約」についても政府はパブリックコメントも取らずに同様となるのではないだろうか？また、「パンデミック条約」制定の準備会議においては、なんと日本が副議長となっているのである。本当に世界が狂い始めている・・・。

## ■外国人技能実習生受け入れ報告

2023年12月13日にネパールからの外国人技能実習生の第一便として SHERPA CHINDOMA さん、BOHORA BISNU MAYA さん、TAMANG KALPANA さん、CHAND KRITI さん、GOLE TAMANG URMILA さん、BASNET LALITA さん、SHRESTHA GHARTI SABITA さん、MUKTAN MIRA MAYA さんの8名の女性が成田空港に到着致しました。この8名は、これから国立市にある研修施設で一カ月間、日本の文化や道德等の勉強を行い、ビルクリーニング技能実習生として各社に配属されます。弊社では、うち4名を受け入れる予定となっています。また、第二便として2024年1月に残り5名が来日する予定となっています。

本事業は、2019年11月末にネパールに当社社長を代表とする訪問団で渡航し、ネパール労働省のKC事務次官と面談をしてスタート致しました。しかしながら、翌年2020年から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界的に感染拡大し、中断を余儀なくされ、2022年12月ようやく再開した事業であります。

彼女たちは母国のネパールで、この一年間日本語の勉強をして入国条件であるN4の日本語学試験に合格し、今回の来日となりました。一日も早く日本に馴染んで働き、様々な技術を習得して働くことを願っています。



【広告】

Asian Restaurant **GaNeZa** 東池袋店

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-6-10 ルナ大住ビル B1F

(地下鉄有楽町線東池袋駅下車徒歩2分 6番出口 地上エスカレーター上る)

03-5962-0883